

ITmedia ビジネスオンライン特集

新リース会計基準でどう変わる？ スムーズな実務対応のカギ

更新日：2026年4月

2024年10月更新

IFRSに沿った新たなリース会計基準が、2027年4月に適用される。

オフィスや生産設備など、企業がリース契約で調達しているものは数多く、
会計基準の変更が及ぼす影響範囲は広いと予想される。

本特集では、企業の財務・経理職の業務への影響と、必要な実務対応を深掘りする。



対象読者

- ・ リース契約の会計処理に関わる財務・経理部門の担当者
- ・ 自社に関わる法制度の変更を把握しておきたい財務・経理部門の管理職

本特集は「[変革の財務経理](#)」内の期間特集として掲載します

経理業務への影響

- ・ [【27年4月】迫る新リース会計基準、経理が「今から始めるべき」8つの準備](#)
- ・ [新リース会計基準「借手は要確認」7つのポイント 27年4月から適用](#)

財務への影響

- ・ [“リースの資産計上”義務化で「企業の負債が大幅増加」——他にどんな影響が？](#)

企業の対応動向

- ・ [【対応企業“生の声”】新リース会計基準「今すぐ始めるべき」準備とは？ 最も大変だった対応は？](#)
- ・ [「新リース会計基準」の対応準備、どこまで進んでいる？ 上場企業746社の経理部門へ調査](#)

変革の財務経理

新リース会計基準「借手は要確認」7つのポイント 27年4月から適用

© 2024年11月11日 17:40:09公開 [小泉特生, ITmedia]

印刷 見る Share 0

「生成AI、導入したけど使わない」を防ぐ、活用促進の切り札は？
「クラウド型では「ニーズに応えられない」 本気のクラウド移行、その一部始終
「クラウドアプリ開発から運用までセキュリティを組み込む、DevSecOpsの理想像

2024年9月、企業会計基準第34号「リースに関する会計基準」と企業会計基準適用指針第33号「リースに関する会計基準の適用指針」が、企業会計基準委員会（以下、ASBJ）から公表されました。本稿では「会計基準」と「適用指針」を合わせて、以下「リース会計基準等」と表記します。

ホワイトペーパー
ドイツ銀行に学ぶ、CentOS 7サポート終了後の安全なLinux運用方法
ERPの標準化が生む課題、個社固有の業務をどうカバーする？

これにより、現行の会計基準である企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」においてオフバランスされている借手のオペレーティング・リース取引についてもオンバランスさせることになりました。

今回の改正は借手の全てのリースについてオンバランスすることで国際的な比較可能性を高めるものです。本稿では、各企業の資産・負債の金額に重要な影響を与える可能性のある借手の会計処理と表示を中心に解説します。

【注】文中黒点にかかる部分は筆者の私見である旨をあらかじめ断ります。

目次

- 1. なぜ変わった？ 新リース会計基準
 - (1) 借手の費用配分の方法
 - (2) IFRS第16号と整合性を図る程度
- 2. リースの定義およびリースの識別
- 3. リース期間
- 4. リース開始日の使用権資産およびリース負債の計上額

業務課題の解決策を分かりやすく、より多くの人に伝える



好調企業の戦略やビジネスモデルの分析、人気商品の裏側解説、働き方改革のノウハウ紹介など、ビジネスパーソンが抱えている業務上の課題に対し、解決を促すメディアです。

Media
Power

月間**850万PV** (2026年2月時点)
会員数 **28.8万人** (2026年2月時点)

Main
Reader

経営層、経営企画、人事・総務、財務、営業、
事業企画、商品企画・開発、マーケティング など

■専門領域×デジタル戦略に注力した10個のコーナー



特集協賛としてタイアップ記事広告を出稿いただくと、
当該特集/コーナーのトップページにタイアップ記事広告への「特設誘導枠」と「貴社ロゴ」を無償掲載します（*）



特設誘導枠



* ご留意事項

- ・ 特設誘導枠と貴社ロゴ掲載は、タイアップ記事広告と同時に、1カ月の期間掲載となります
- ・ 特設誘導枠と貴社ロゴに関するレポート（クリック数など）は発行できません
- ・ 1回のご出稿で複数の特集に協賛することはできません

「特集」 「常設コーナー」 トップページ

ご出稿タイアップ記事広告



株式会社プロシップ様

新会計基準 Excel管理が難しいこれだけの理由
担当者が検討すべき“ソリューション+α”の中身とは？

<https://www.itmedia.co.jp/business/articles/2501/28/news005.html>



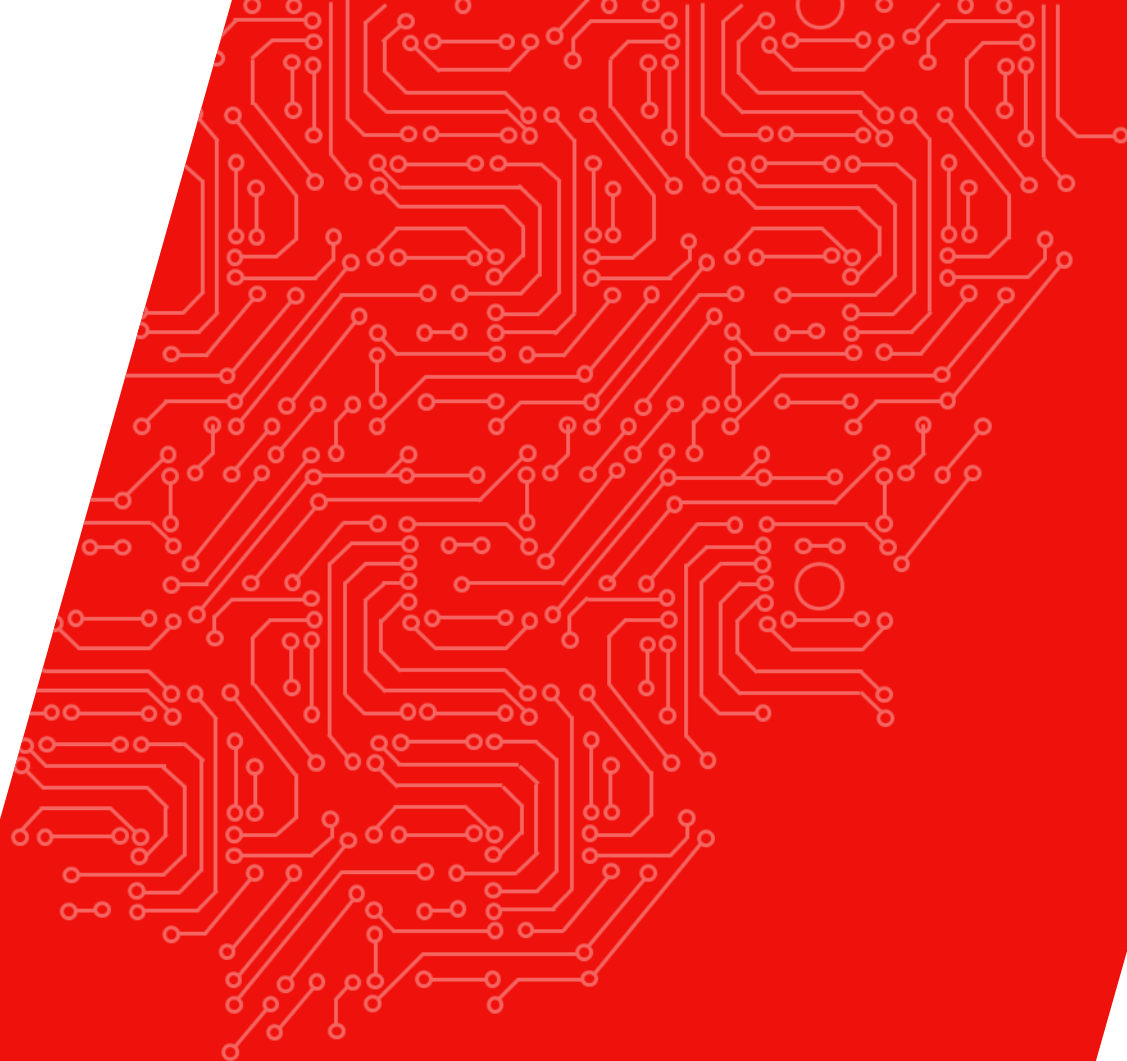
株式会社ワークスアプリケーションズ様

強制適用見込み間近!? 「新リース会計基準」について
今から取り組むべき課題をプロが徹底解説

<https://www.itmedia.co.jp/business/articles/2312/01/news006.html>



特集連動 タイアップ記事広告のご案内



特集に連動したタイアップ記事プランをご紹介します

[各プランの詳細はこちら](#)

タイアップ プッシュターゲットティング	「メタバースに興味がある読者」のように、対象を限定して送るHTMLメールによる配信型タイアップ記事広告	1,200,000円 15,000通配信
タイアッププッシュ	HTMLメールによる配信型タイアップ記事広告	1,000,000円 15,000通配信
PV保証タイアップ	特定ターゲティングは行わず、メディア読者へ認知を行うタイアップ記事広告	2,600,000円 10,000PV保証
DXメディア横断 PV保証タイアップ	DX関心層の集まる「ITmedia NEWS」「ITmedia ビジネスオンライン」「@IT」「ITmedia エンタープライズ」などの6メディアを横断して誘導を行うタイアップ記事広告	2,300,000円 10,000PV保証
行動履歴ターゲティングタイアップ	読者の行動データをもとに興味・関心の高い人だけを誘導するタイアップ記事広告	2,300,000円 10,000PV保証
リード提供型タイアップ	新規で企画・制作したタイアップ記事広告を活用し、件数保証でリードを獲得するパッケージ	1,820,000円 3,000PV保証

ITmedia「タイアップ記事」 4つの特徴

読者を知る編集者の企画編集

メディア掲載される記事を執筆編集している編集者がその知見を活かし、読者の理解を促すコンテンツを提案。制作作業に最後まで携わります。

01



02



効果的な読者導線

弊社が有するサイトの特性を生かした広告や読者行動データを活用した誘導配信などを組み合わせ、効率的な読者の閲覧を獲得します。

PVの保証

PV数を保証するメニューをご用意。キャンペーンの数値目標にコミットします。掲載期間が終了したタイアップ記事に誘導を再開することも可能です。

03



04



詳細なレポートニング

掲載期間終了後にはPV/UBのほか閲覧企業名などを記載したレポートをご提供します。ご出稿の効果を適正に評価しての次回施策活用が可能です。

コンテンツ案

専門分野の知見を持った編集者がコンテンツ案作成に協力、施策の意図に沿った記事を作成します



導入事例

ユーザー企業への取材を通じて
エンゲージメントを高める



トップインタビュー

企業トップによるメッセージ
アウト



エバンジェリスト インタビュー

エバンジェリストへの取材を
通じての情報発信



有識者対談 著名人アサイン

有識者起用でイメージ向上、
業界著名人起用で魅力を伝える



漫画タイアップ

文章ではなく漫画を用いること
でわかりやすい情報伝達を行う



自社製品内比較

新製品の優位性を既存商品との
比較で明らかにする



販売パートナー向け

パートナー獲得に向け得られる
メリットや提案イメージを紹介



動画制作付

記事内に動画を配置し文字だけ
では伝わらない魅力を発信



セミナーレポート

自社開催セミナーの様子をレ
ポートとして記事化。情報発信
に利用できる



採用広告

従業員インタビューなどを通じ
て実際に働くイメージを醸成し
採用促進につなげる

これまでに掲載されたタイアップ記事は<https://www.itmedia.co.jp/info/special.html>こちらからご覧いただけます

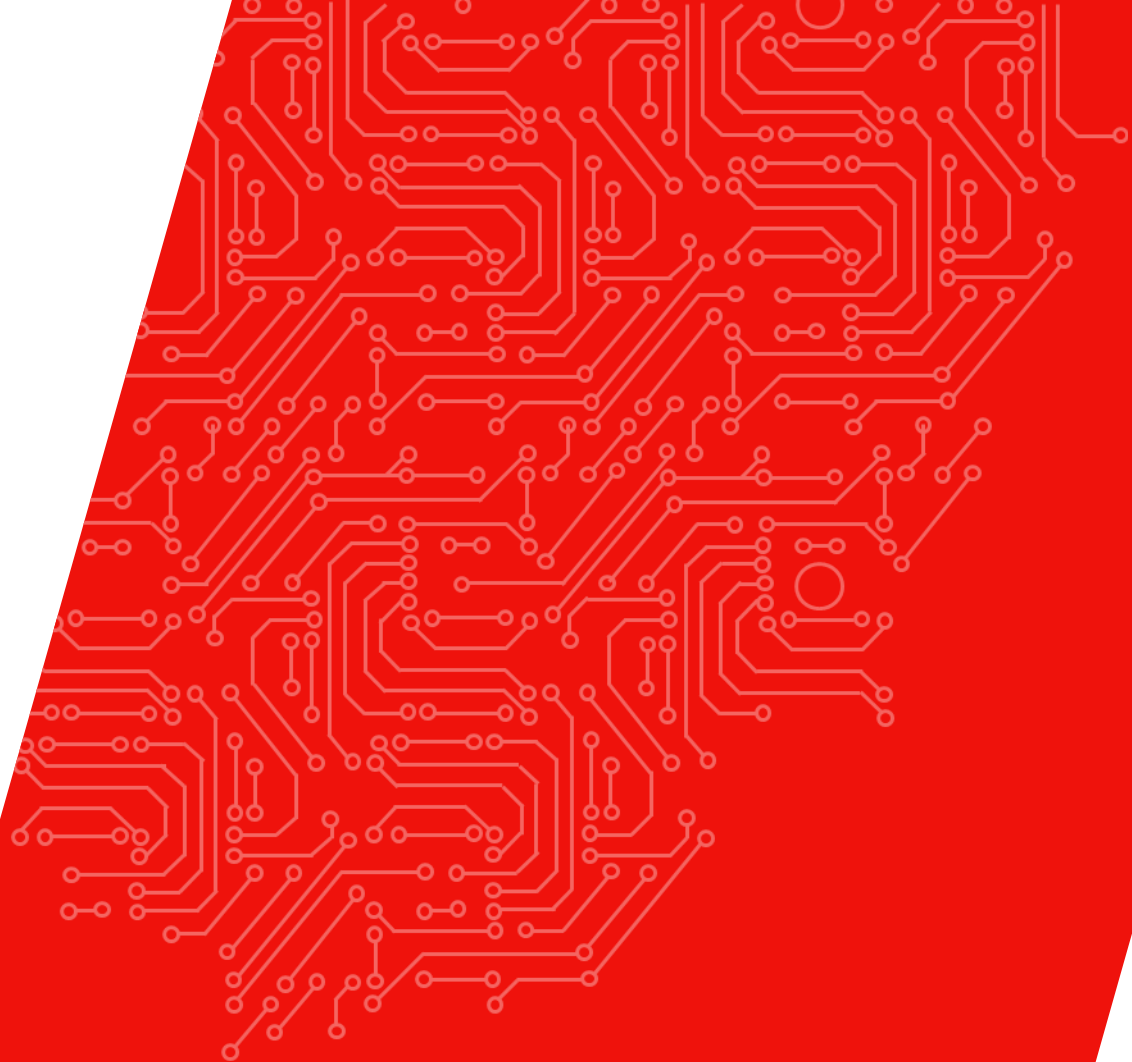
オプション：外部ブーストメニュー

タイアップ記事に対して、アライアンス各社とアイティメディアのメール商品を活用しターゲット業界の読者を誘導します

業界	アライアンス先		アイティメディア			金額
	メディア名	配信通数	使用メール枠	配信条件	配信通数	
教育	日本教育新聞	約9,000通×2回	アイティメディアID 横断ターゲティング メール	教育業	約18,000通×1回	¥1,000,000
自治体	ぎょうせい	約20,000通×2回		政府/官公庁/団体	約14,000通×1回	¥800,000
流通・小売	流通ニュース	約37,000通×2回 ※同内容1回配信含む		卸売業・小売業 ※コンピュータ関連製品販売業・リセラー除く	約4,000通×2回 ※同内容1回配信含む	¥700,000
物流	LOGISTICS TODAY	約31,000通×1回		運輸業・郵便業	約3,000通×1回	¥400,000
製薬	ミクス	約4,000通×1回		食品・化学・ 薬品製造業	約5,000通×1回	¥800,000
建設	建設ITワールド	約4,200通×1回	BUILT メールマガジン	-	約21,000通×1回	¥400,000
危機管理／BCP	リスク対策.com	約22,000通×3回 ※ヘッダ	ITmedia ビジネスオンライン メールマガジン	-	約187,000通×1回	¥800,000

※ 誘導広告の内容はお任せいただきます（事前の確認・指定・終了後の開示はできません）

各種規定



本企画書掲載のアイティメディア商品のご提供に際しては、サービス基本規程・媒体規定・入稿基準・キャンセル規定が他の条件に優先して適用されます。

以下のリンクからご参照ください。

- サービス基本規程

<https://promotion.itmedia.co.jp/terms/master>

- 媒体規定、入稿方法

https://promotion.itmedia.co.jp/order_regulation

- キャンセル規定

<https://promotion.itmedia.co.jp/terms/cancellation>

タイアップ記事企画「Special」誘導枠の各料金・仕様の詳細は、アイティメディア広告料金表をご参照ください。

go.itmedia.co.jp/l/291242/2025-04-02/2d245tj

広告の品質保証について

ブランドセーフティおよび広告トラフィックの品質確保のための取り組み

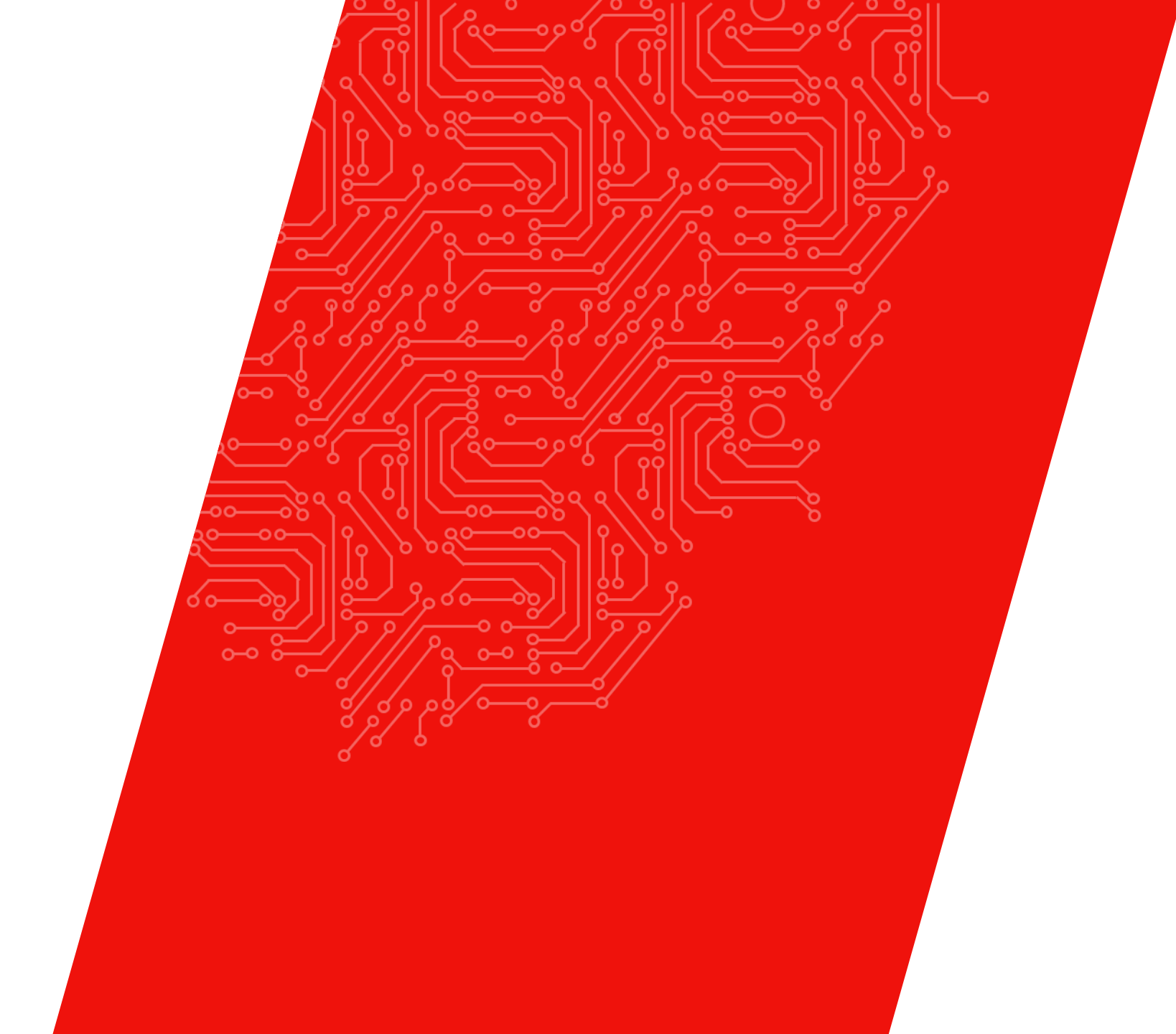
アイティメディア株式会社（以下「当社」といいます）は、一般社団法人日本インタラクティブ広告協会（JIAA）が定めるガイドラインに従い、広告掲載先の品質や広告トラフィックの品質の確保に努めております。

1. 広告掲載先の品質確保（ブランドセーフティ）やその対策について
 - 広告掲載先の品質確保に関するガイドライン（ブランドセーフティガイドライン）
https://www.jiaa.org/gdl_siryo/gdl/brandsafe_gdl/
2. 広告トラフィックの品質確保やその対策について
 - 広告トラフィックの品質確保に関するガイドライン（無効トラフィック対策ガイドライン）
https://www.jiaa.org/gdl_siryo/gdl/ivt_gdl/

2024年9月1日付けで、一般社団法人 デジタル広告品質認証機構（JICDAQ）が定める第三者検証のJICDAQ認証基準を満たし、媒体事業者（広告販売者）としてJICDAQ認証を取得しました。

認証機関 : 一般社団法人 デジタル広告品質認証機構（JICDAQ）
認証分野 : 「ブランドセーフティ」、「無効トラフィック対策」
事業領域 : 広告販売者（媒体事業者）
検証確認方法 : 第三者検証





ITmediaビジネス O N L i N E

■お問い合わせ

アイティメディア株式会社 営業本部

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-12

紀尾井町ビル 13階

<https://promotion.itmedia.co.jp/contact>

